

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成27年4月1日から 平成32年3月31日まで	担当課	観光まちづくり活動課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	360	181	50.3%	
	延べ利用者数 (人)	485,140	264,434	54.5%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		利用料金収入 (円)	376,400,000	198,386,926	52.7%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円) (受託収益、雑収入)	16,354,000	9,661,909	59.1%
		収入計 (円)	392,754,000	208,048,835	53.0%
	支出	人件費 (円)	152,120,000	76,985,067	50.6%
		維持管理経費 (円)	128,600,000	60,927,242	47.4%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	108,034,000	51,310,422	47.5%
		支出計 (円)	388,754,000	189,222,731	48.7%
収支 (収入－支出) (円)		4,000,000	18,826,104		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：181日※休館日：2日 利用者数：264,434人 (前年度上半期比6,138人増)	【事業の実施状況について】 集客の面では、タイアップ強化と誘客活動を推進し、収支の面では、レストランの売上増進に努めた。	【収支状況について】 経常利益は人件費増加も、売上高の増加並びに経費の抑制により、前年同期比で8,499千円増加し、18,826千円の黒字で推移している。
---	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

開館日数が前年度上半期と同じ181日であったが、利用者数が前年同期比で102.4%と増加しており、誘客活動の成果が認められる。	企業とのタイアップ強化による集客及び新プランの提案等によるレストランの売上増進に努めており、評価できる。	支出については、人件費が増加したもののその他の部門にて経費が削減されている。また、収入も前年同期比で182.3%と増加しており、収支状況は良好である。
---	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	85人 人員配置計画	85人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 3回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	39% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>前年の消費税率の引き上げ及び原材料費、最低賃金の引き上げによる人件費の高騰にもかかわらず、経費の抑制に努め、市の所管課と連携しキャラバン、宣伝等を実施するなど、利用者の増加及び増収を図り、マイナス要因を払拭する営業活動に傾注した結果、総利用者は過去最高記録を達成いたしました。また、今年度上半期は、市制20周年行事も多々あり、当社も積極的に参加しました。今後も市及び地域と連携し、積極的に誘客・増収を図り、地域活性化の取組に邁進してまいります。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>前年の消費税率、原材料及び最低賃金の引き上げなど外的要因による経費負担の増加に対し、その他の支出の削減をし、前年度同期比で約4,000千円の支出削減を達成している。また、民間事業者とのタイアップや効果的なプロモーションの実施により、利用者数の大幅な増加や前年度同期比約4,500千円の収入増加を達成している。</p> <p>経費削減等の経営の効率化及び積極的な営業活動により、安定的な黒字経営を達成しており、市の観光行政の重要なパートナーとして、地域活性化に大きく貢献している。今後も安定的な経営状況を継続的に実現し、市及び地域と連携して活性化に努めていくことが期待される。</p>